

庵原フィールドワーク 活動報告

「地域資源を活かした食・スポーツによる地域活性化」

スポーツプロモーションコース3年 利根川悠太、西山拓真、早乙女寛太、上田涼斗、木元朝陽
指導教員：村田真一、平嶋裕輔

地域概要

庵原地区は、静岡市清水区の北部に位置する町である。人口は約1万人で総世帯数は約3千世帯（連合自治会の数は19地区）である。庵原地区の特徴は、地区を囲う山々と、そこから眺望できる駿河湾の大海など素晴らしい自然にあふれていることである。また、傾斜があるため水捌けが非常に良く特に、みかんやお茶の生産が盛んである。さらに、庵原球場や清水ナショナルトレーニングセンターなどのスポーツ施設が充実しており、プロサッカーチームなどの合宿所となる。2023年には「くふうハヤテベンチャーズ静岡」という静岡県初のプロ野球チームが設立され、同チームは庵原球場（ちゅ〜るスタジアム清水）を本拠点とし、活動を行っており、今日非常に注目を集めている。

このように庵原地区は、豊かな自然環境のもとで「食・スポーツ」が充実しており、貴重な資源のある地域といっていだろう。そして現在は、中部横断自動車道の開通に伴って、この地区に「道の駅」を開設しようという計画が立案されている。道の駅を作り、そこに多くの人々が立ち寄り、庵原地区のことをさらに認知していただくことで、さらなる庵原地域の発展につながると考えられる。我々もこの計画に賛同し、「地域資源を活かした食・スポーツによる地域活性化」というテーマに基づいて活動を継続中である。



2024年 万灯祭の様子



庵原町の景色

これまでの活動

2023年までは連合自治会に加入している世帯へ、地域意識・行動とスポーツ活動との関連を問う大型アンケート調査を実施、また「清水いはら」のロゴマークを選定した。

2023年度は清水テルサにて行われた健康フェスタでのブース出店、ステージ発表や庵原フェスでスポーツイベントブースを出店。また、「くふうハヤテベンチャーズ静岡」に関する討論会も実施した。

2024年度の活動

「だれでもスポーツday」イベントの参加

清水蛇塚スポーツグラウンドにて開催されたスポーツの日のイベントに運営補助として参加。ストラックアウトやキックターゲットなどのブースに分かれ運営補助を行った。



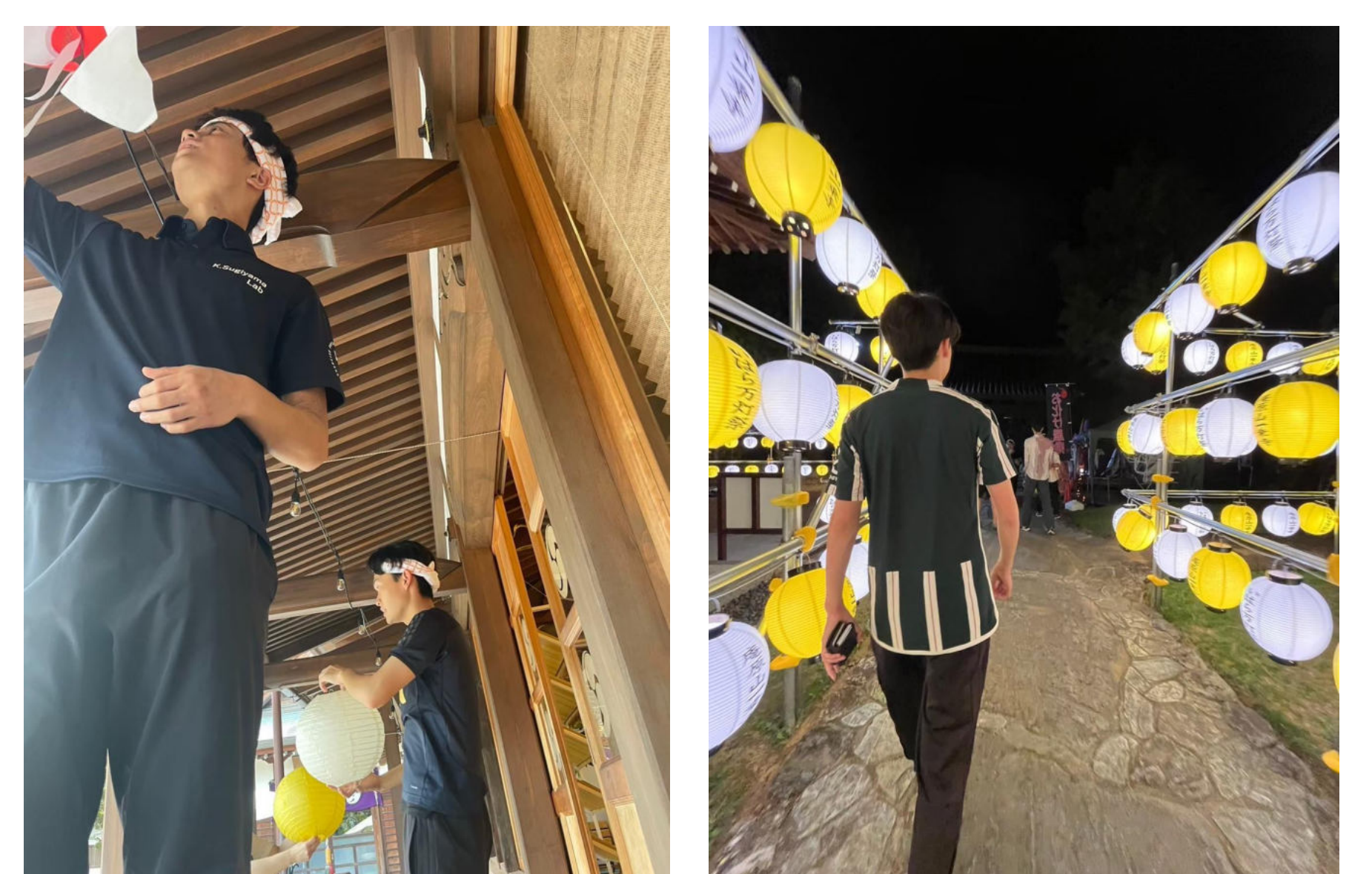
清水テルサにて開催された健康フェスタへのブース出店

昨年同様、清水テルサで開催された健康フェスタにてブローライフルのブースを出店。的に命中した数を点数化し、呼吸機能の健康度を確認してもらうとともに、ブローライフルという競技の周知にもつなげることができた。また、他ブースで行われていた、機械を用いた体力測定の補助にも参加させていただいた。前年よりも参加者が多く、大いに盛り上がった。



万灯祭への参加

この祭りは庵原地区の一乗寺で開催され、その住職である丹羽宗元氏を主催者として毎年行われる祭りである。その運営補助として参加した。会場の事前準備、設営、撤去、駐車場整理、お化け屋敷の受付などを行った。参加者は子どもから高齢者まですべての年代の方と幅広く、庵原で一年に一度地域住民が集まるイベントであるとの話を伺った。





庵原住民調査

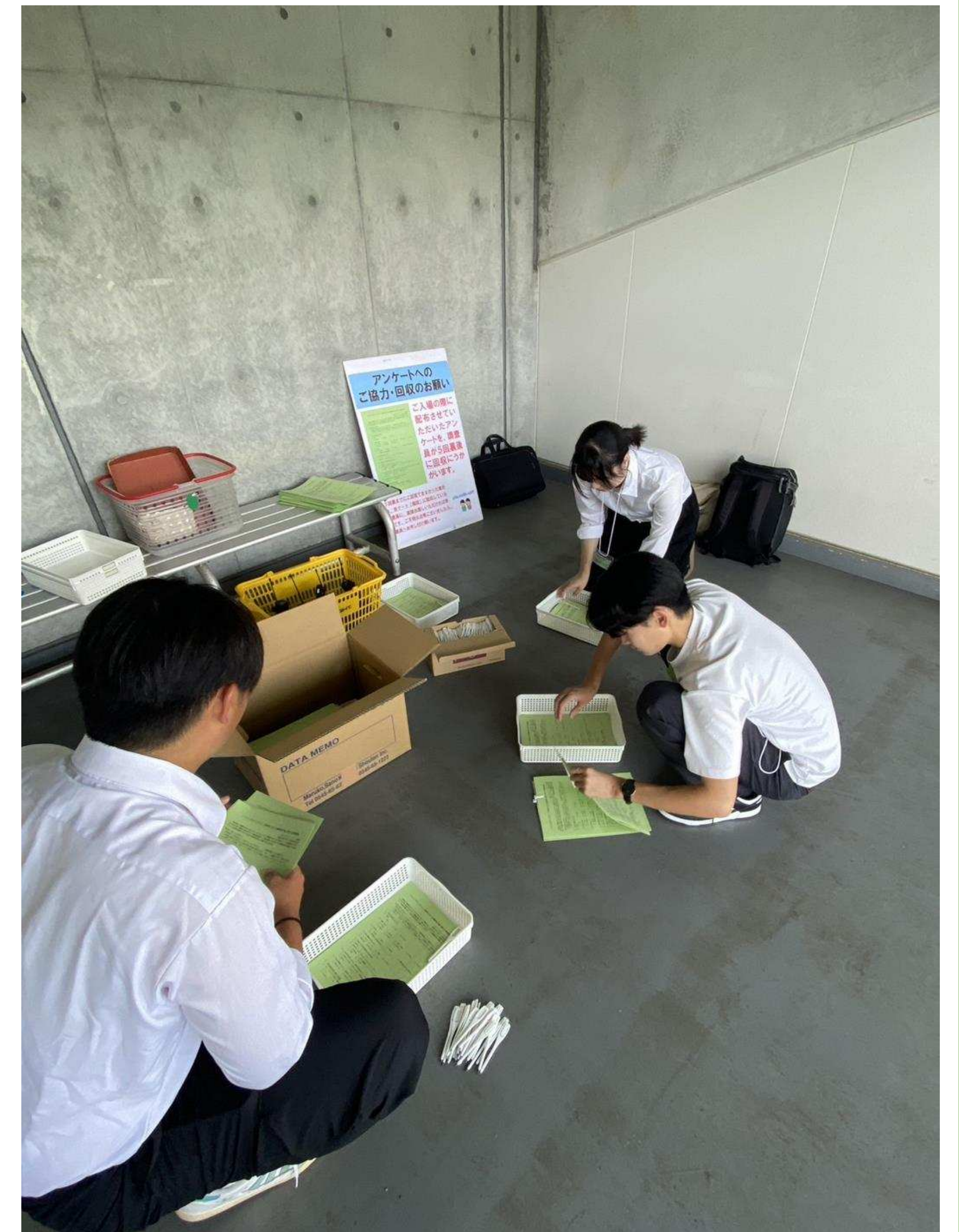
先輩の実験の手伝いで庵原住民へ調査を行った。調査の目的は、くふうハヤテベンチャーズ静岡を事例として、本拠地球場直下の庵原地区住民が受けた社会効果について地域関与状況に着目しながら明らかにすることである。

我々は自治会にアンケート用紙を配布し、回収活動を行った。回収したデータは2596個で全員で打ち込みを行った。結果として、くふうハヤテベンチャーズ静岡が庵原に来たことで庵原の認知度が上がったと感じている人が多いこと、子どもたちの学びの場が増えたと感じる人が多いことなど様々なことが分かった。

くふうハヤテベンチャーズ静岡観戦者調査

こちら先輩の実験の手伝いとして調査を行った。今回は実際にくふうハヤテベンチャーズ静岡の本拠地である「ちゅ〜るスタジアム」でアンケートを配布し、調査を行った。調査の目的は新規参入球団の基礎実態を明らかにすることである。

結果として、観戦者の年齢の割合は、50代が最も多く全体の3割を占めていることが分かった。次に、40代、19歳〜29歳、30代の順番に観戦者の割合が大きいことが分かった。また、ちゅ〜るスタジアムがある庵原地区の特徴として、高齢者が多いことから、中高生の観戦割合が著しく低く、若者世代に注目度が低いことが見受けられた。静岡県外の観戦者の詳細は愛知県が最も多く、トップリーグの本拠地がある首都圏から人が集まることが分かった。一方で球場の近くに中部横断自動車道が通っており、山梨県、長野県からの交通の便は良いにも関わらず、観戦者の割合が少ないことから、トップリーグの本拠地を構えない県の差がでたと考えられる。



これまで取り組んできたフィールドワークを振り返って

2年間のフィールドワーク通して、庵原地区の住民の温かさや優しさに触れることができ、住民の方々の協力もあって庵原フェスや、清水テルサなど様々なイベントにおけるブース出店などを成功させることが出来た。ここでフィールドワークとしての活動は終わるが、これまでのインタビューや会議などで得られた庵原ならではの高低差からなる需要に関する悩みの解決や地域活性化への道のりはまだまだ長いと思うのでこれから機会があれば積極的に関わることでこれまでの活動の感謝を庵原に伝えることが出来れば良いと思う。

早乙女寛太

庵原のフィールドワークを通して、イベントの経費や労働力などの困難、やりがいや達成感など多くのことを学ばせていただき、非常に充実した活動だった。活動の中で地域住民の方々と関わり、協働で作業をして繋がりを実感し、授業としてのフィールドワークが終了した後もまちづくりのお手伝いをしたい。くふうハヤテベンチャーズ静岡ができたことや、アンケートの結果から庵原という地域づくりに対してどのようなアプローチをしていけるかこれからも考えたい。

利根川悠太

スポーツと食が非常に密接に関係している庵原の地で活動することで、庵原の地の豊かさだけではなく人と人とのつながり、やさしさにも触れることができた。また、スポーツプロモーションコース所属として多くの人たちに健康づくりやスポーツをする喜びなどを伝えることができたと思う。フィールドワークは終了してしまうが、ここで得た経験を今後生かしていきたいと思う。

西山拓真

約2年半のフィールドワークでは様々な庵原町の活動に参加させて頂いた。活動の中で、地域の方々と交流するたびに、庵原町の魅力を感じると共に、多くの学びを得ることができた。

木元朝陽

私は庵原のいろいろな人々とかかわることで庵原という町がスポーツであったり、祭りであったりいろんな分野でつながりがあることに感動を感じた。

上田涼斗

謝辞

清水ナショナルトレーニングセンター/J-STEP スタッフの方々

万灯祭 関係者の方々、庵原フェス 関係者の方々、清水テルサ並びに健康フェスタ関係者の方々並びに庵原フィールドワーク活動にご協力いただいたすべての方々に、厚くお礼申し上げます。